

令和4年度 第1回 高槻市中心市街地活性化協議会 会議録

日 時：令和4年10月21日（金）～11月4日（金）
場 所：書面開催
事 務 局：高槻商工会議所、高槻都市開発株式会社
市担当課：高槻市産業振興課

令和4年度中心市街地活性化協議会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面にて開催された。議題は以下のとおりである。

（議題）

1. 令和3年度高槻市中心市街地活性化基本計画記載事業の進捗について
2. 中心市街地活性化事業の実施について
3. 高槻市中心市街地活性化基本計画の変更認定について
4. 高槻市中心市街地活性化基本計画の変更予定について

協議会構成員26名に上記にかかる資料を送付し、以下のとおり7名から意見をいただいた。

（意見）

1. もう少し医療の視点があると良いかもしれません。
2. 城北通の企画について
我が商店街にとっても参考になるかと期待し、拝見しましたがどこか一過性のものであり他に良い方法がないものかと思えます。文章にもありましたがソフト事業は一過性になりやすいですね。何か良い方法はないのでしょうか。城北通りも私どももハード事業が必要ではないのでしょうか。
3. 中心市街地活性化基本計画の第2期計画75の事業については、令和2年当初より継続しているコロナ禍の環境の下、集客を見込む事業の進捗率鈍化が拭えない状況になってる傍ら、ホテル誘致や公園・劇場整備などは、充実した成果物の実績です。以上のことから、コロナ禍が主たる原因ですが、ソフト面とハード面の調和のずれから、基本方針である来街機会の増加と回遊性の向上・経済活力の増進の達成評価に繋がっていると思われまます。今後、環境改善は期待するものの、中心市街地中心部にシンボリック的象徴（通年、皆が集合場所として活用出来るような）を創造し、人流が起きる活気ある町を構築していく必要があるように思われまます。あと、城北通商店街様のブランド構築事業は、通りの名前にあったロゴを新設され、今後の組合員相互関係に必要性を感じ、感心しました。但し、全組合員が満足して参加する企画は、難しく、どの単組でも課題

です。

当店舗会も当然のことながら、令和2年当初より、四季折々に計画しているイベントが、コロナ禍の中、ほとんどの事業が中止となりました。その中で、5月母の日絵画展や7月七夕笹かざりというイベントは継続、あと、令和3年からは、コロナ感染対策実施の下、販促事業である7月・11月の得々券販売は実施しております。直近の予定で、クリスマスには、継続事業のツリーやイルミネーションの飾り付け・ワンコインパーティは実施予定です。但し、2階アクトドームのステージ装飾は、季節やイベント毎に都度、更新していますので、1年を通して、南側玄関口の顔をして工夫を凝らしていますので、お楽しみ下さい。

4. 町のすがたが目に見えて良くなっていくのがわかります。今回はJR北駅前広場の整備がすすんでいて、町の表情が変わります。それにつれて、細部も整っていくことで、すっきりとした町並みが出来ていくことと思います。反面、コロナ禍で町の活力が奪われていることも実感しています。

高槻駅はJR西日本管内で8番目の乗降客の駅だということで広島駅を抜いているそうです。人の往来の潜在力は大きいものがあります。大阪まで行かないでも達成できる都市機能を充実させることで高槻の町が楽しくなっていくのではないのでしょうか。「上質の〇〇」が高槻の町のテーマです。

5. 進捗状況(2021年)において、実施率が71%という事でスピードアップして完了していただきたい。

目標指標においては新型コロナ等の社会的要因が影響しており、いたしかたがない面がある。市民全体をターゲットにするのも良いが、地域コミュニティ別のイベント(例:地域別対抗戦(玉入れ・綱引き大会等))

6. イベントの周知等のお話がありましたら、ご協力させていただきます。

7. 安満遺跡公園の賑わいや、現代劇場の整備など新しいコンテンツが増えて、素晴らしいことだと思います。中心市街地の活性化に向けて、着実に勧められていると思います。引き続きよろしくお願い申し上げます。

北摂エリアが一丸となって何か取り組みたいと各市(7市3町)のシティプロモーション系の部署と鉄道事業者、商工会議所、公園指定管理者などが参加する交流会を実施しています。何かお役に立てることがございましたら、おっしゃってください。